

「量子力学誕生100年」記念

日経クロステック主催

産業応用/ビジネス実装と市場開拓を支援する  
量子コンピューティング関連の新規事業

事業計画と協賛プログラムのご案内

日経BP

# 🔗 企画趣旨

- 2025年は量子力学の誕生から100年とされ、ユネスコは「国際量子科学技術年」に定めている。ハイゼンベルクやボルンなど、歴史に名を残す物理学者たちが量子力学の基礎理論を構築したのが100年前。日本にとって2025年は「昭和100年」の節目でもある。誕生から100年を経た量子力学を巡って、いま最もホットな話題は量子コンピューターだ。つい10年前までは「夢の技術」と言われていたが、ここ数年の大きな技術進化によって、商用の量子コンピューターがいつ実現するかに関心は移りつつある。
- これまでも各国で量子コンピューターの基礎研究やハードウェア開発が進められてきたが、産業への応用が実現することによって飛躍的な発展が期待できる領域は、創薬や材料開発、物流や交通、金融、さらには供給に応じた電力の需要調整の整備が求められるエネルギー市場など、さまざま存在する。現在、量子コンピューターの研究開発と産業応用は、わが国においても重要な国家戦略として位置づけられ、ハードウェアの開発のみならず、ソフトウェア開発、人材育成プログラム、国際連携強化を視野に入れた官民による取り組みも始まった。近い将来に拓かれるであろう世界市場を日本が競争優位に進める展開に期待する声は大きい。
- 経済産業省は今後、半導体や人工知能(AI)などと共に産業支援に力を入れる方針を明確に打ち出した。実際にこれから起きるのは半導体とAI、量子の融合だと指摘する声もある。将来のコンピューティングでは、半導体、AI、量子技術を組み合わせ、それぞれの能力を引き出したり補ったりする技術が重要性を増す可能性が高い。
- このような状況をふまえ、国内外における最新の技術動向をウォッチする日経クロステックは、産業応用(ビジネス実装)と市場開拓を支援する量子コンピューティング関連事業を立ち上げる。本事業では、産・官・学の有識者やキーパーソンが集うコンソーシアムを設立したうえで、メディア独自の視点を織り込む年2回の研究会(ラウンドテーブル)と年1回のシンポジウムを開催。さらには当社メディアを活用した情報発信サービスなどで構成し、貴社の技術広報やブランディング、人材獲得支援につながる機会を提供する。ぜひ、本事業の企画趣旨にご賛同いただきたい。

# 注目すべき「量子」関連の報道相次ぐ

日経XTECH

キーワードで検索

新着 | トラブル | 調査/データ | IT | 電機 | 自動車 | 建築

記者の眼

## 量子の100年に変革起こす、半導体の60年とAIの3年

大下 淳一 日経クロステック

日経XTECH

キーワードで検索

新着 | トラブル | 調査/データ | IT | 電機 | 自動車 | 建築

ニュース解説

## 富士通・理研が256ビット量子コンピュータ、誤り訂正実現へ26年度に次世代機

日経XTECH

キーワードで検索

新着 | トラブル | 調査/データ | IT | 電機 | 自動車 | 建築

ニュース解説

## 三菱ケミカルGがEUVレジスト開発に新手法、量子MIで分子設計を最適化

日経XTECH

キーワードで検索

新着 | トラブル | 調査/データ | IT | 電機 | 自動車 | 建築

ニュース

## 東京大学が量子コンピューターにIBMの「Heron」プロセッサを導入

高橋 拓也 日経クロステック

日経XTECH

キーワードで検索

新着 | トラブル | 調査/データ | IT | 電機 | 自動車 | 建築

ニュース解説

## デロイトが量子エコシステムの構築を支援、日本に投資呼び込む

佐藤 雅哉

日経XTECH

キーワードで検索

新着 | トラブル | 調査/データ | IT | 電機 | 自動車 | 建築

ニュース

## NTT川添氏がIOWN誕生5年を総括、次の柱は「高精度クロック伝送」と「量子」

国司 理紗子 日経クロステック

2025.05.16

日経XTECH

キーワードで検索

新着 | トラブル | 調査/データ | IT | 電機 | 自動車 | 建築

日経クロステック トップ > エレクトロニクス機器/技術 > 量子力学100年の結晶、量子コンピューター最前線 > 新興勢が優位の量子

「AIシフト」の波に乗れ! 「日経クロステックNEXT 関西」開催

## 量子力学100年の結晶、量子コンピューター最前線

第2回

## 新興勢が優位の量子コンピューター、大手は新方式で反撃へ

佐藤 雅哉 日経クロステック

2025.04.16

有料会員限定

日経XTECH

キーワードで検索

新着 | トラブル | 調査/データ | IT | 電機 | 自動車 | 建築

ニュース解説

## FTQCは国の想定より早く実現か、量子エラー訂正が急速に進化

佐藤 雅哉 日経クロステック

2024.06.17

有料会員限定

日経XTECH

キーワードで検索

新着 | トラブル | 調査/データ | IT | 電機 | 自動車 | 建築

ニュース解説

## ソフトバンクが通信に量子技術、データセンターを効率化

佐藤 雅哉 日経クロステック

2025.03.03

有料会員限定



# コンテンツ企画主要メンバー(編集チーム)



日経BP 執行役員  
日経クロステック発行人  
森重 和春



日経クロステック  
先端技術 編集長  
高野 敦



日経BP  
AI・データラボ所長  
中田 敦



日経クロステック  
記者  
佐藤 雅哉

# 全体設計と活動内容(予定)

## ■日経クロステック量子コンピューティング・コンソーシアム(仮称)の設立

行政・公的機関や大学・研究機関や量子コンピューターの先進ユーザー企業から研究者、有識者を招聘。メンバーは研究会に参加。シンポジウムでの講演機会がある。本事業の年間特別協賛企業もメンバーとなる。

## ■シンポジウムの開催(年1回)～技術広報やブランディングに最適

2025年11月を皮切りに受講規模200名を想定して年1回開催。企業経営者のほか、事業開発、素材開発などに携わるビジネスマン、研究者などに幅広く受講を促し、国内外における量子の最新技術動向や事例を紹介する。協賛企業の技術広報やブランディング、人材獲得につながる場にもなり得る。

## ■研究会(ラウンドテーブル)の実施(年2回)～メディア独自の視点を織り込む

2026年より年2回開催。日経クロステック先端技術編集長の高野敦が座長を務める予定。産官学の有識者が集まりディスカッションを行う。日経BPからは取材に基づく国内外の情報を提供する。

## ■量子技術/量子コンピューターに関する独自調査の実施

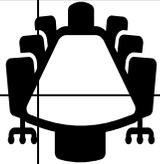
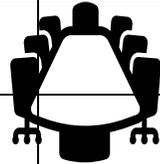
(1)量子技術の社会実装と量子コンピューターの産業応用の状況、(2)ユーザー側の産業構造と取り組み、(3)主要プレイヤーの動向などをふまえた日経クロステックによる独自調査を実施。

## ■当社メディアを活用したタイアップ記事(PR)による情報発信

本事業の協賛各社の取り組みを日経クロステックをはじめ、日経ビジネス電子版、日経エレクトロニクス、日経コンピュータなどの媒体にタイアップ記事(PR)を掲載する。※掲載媒体は選択式



# ロードマップ(予定)

活動内容	2025/11月	12月	2026/1月	2月	3月	4月
シンポジウム	◎第1回オンラインセミナー	----->◎講演採録記事の掲載				
研究会(ラウンドテーブル)	※第1回研究会のテーマ検討、有識者招聘		----->			◎第1回(リアル会議)
量子コンピュータに関する調査						
情報発信(タイアップ広告)	※協賛プランにより媒体や回数は異なるが掲載時期の設定は任意(日経クロステック+日経ビジネス電子版ダブルネームでの広告タイアップ記事掲載が基本)					
活動内容	2026/5月	6月	7月	8月	9月	10月
シンポジウム						◎第2回オンラインセミナー
研究会(ラウンドテーブル)	※第2回研究会のテーマ検討、有識者招聘		----->			◎第2回(リアル会議)
量子コンピュータに関する調査	◎調査実施	----->		◎調査結果のレポート		
情報発信(タイアップ広告)	※協賛プランにより媒体や回数は異なるが掲載時期の設定は任意(日経クロステック+日経ビジネス電子版ダブルネームでの広告タイアップ記事掲載が基本)					

※上記の計画は事情により変更になる場合があります

# 量子コンピューティング・コンソーシアム(仮称)

## ■コンソーシアムの参加対象(主に研究会で議論するメンバー)

- ・国の行政機関や公的機関、教育・研究機関などの有識者
- ・量子コンピューターの先進ユーザー企業
- ・量子コンピューターマシン、ソフト提供各社 ※本事業の年間協賛企業
- ・量子コンピューター用半導体、センサー、マテリアル、パッケージング関連各社 ※本事業の年間協賛企業
- ・量子コンピューターのビジネス活用コンサルティング各社 ※本事業の年間協賛企業

## ■コンソーシアムの活動目的

- ・量子技術/量子コンピューターをめぐる最新情報の入手、米中をはじめとする海外動向の把握
- ・用途開発やビジネス実装に向けた議論と市場開拓、拡大の支援、ビジネスエコシステムに関する考察
- ・産官学、立場の異なるメンバー同士のコミュニケーションやビジネスコラボレーションの促進
- ・スタートアップ企業の支援や発掘に関する議論と推進
- ・量子コンピューター利活用に向けた期待感の醸成、協賛企業の技術広報、ブランディングの推進

# 研究会(26年3月、9月)のテーマ案

## ①量子コンピューター開発のロードマップと最新の技術開発動向

世界と日本で同時並行的に加速している量子コンピューターの技術開発動向と今後のロードマップを把握。ハードウェア技術のほか、各方式の共通基盤となるミドルウェアの開発動向、日本が強みを持ち海外企業や研究機関が注目する部素材技術の進化などを展望する。

## ②産業応用の現在地と先進ユーザー企業による取り組み、人材育成

産業界が期待する用途開発やビジネス実装について、先進ユーザー企業が取り組む応用事例を紹介。また、将来を担う専門人材やグローバル人材の育成とそれらの仕組みづくりを考察する。

## ③量子産業エコシステムの構築と量子技術への投資活性化、スタートアップ支援

社会的価値や市場を創出するうえで優れたユースケースをどうつくるのか。量子産業エコシステムの構築とサプライチェーンの整備、さらに産業価値を高めるための投資活性化とスタートアップ支援を考察する。

## ④FTQCのロードマップ(ハードウェア編/ソフトウェア編)

量子コンピューターの産業利用に不可欠なFTQC(誤り耐性のある汎用量子コンピューター:Fault-Tolerant Quantum Computer)のロードマップについて、ハード/ソフト両面から展望する。

※上記テーマ案は仮のもので、今後、有識者、ご協賛社様のメンバー構成を見ながら検討を進めてまいります。

# 研究会：有識者の想定メンバー(案)

- ・新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO) AI・ロボット部 量子ユニット ユニット長 工藤 祥裕 氏
- ・文部科学省 研究振興局 量子研究推進室 室長 田淵 敬一 氏
- ・大阪大学 量子情報・量子生命研究センター センター長、特任教授 北川 勝浩 氏
- ・大阪大学大学院 教授、量子情報・量子生命研究センター副センター長 藤井 啓祐 氏
- ・沖縄科学技術大学院大学(OIST) 量子情報物理実験ユニット 准教授 高橋 優樹 氏
- ・法政大学 情報科学部 教授、NEDO イノベーション戦略センター フェロー 川畑 史郎 氏
- ・東京科学大学 総合研究院 基礎研究機構 特任教授 西森 秀稔 氏
- ・東京大学大学院 工学系研究科 教授 古澤 明 氏
- ・東京大学 工学系 光量子科学研究センター 教授 小芦 雅斗 氏
- ・東北大学 情報科学研究科 教授 大関 真之 氏
- ・分子科学研究所 光分子科学研究領域 研究主幹／教授 大森 賢治 氏
- ・理化学研究所 量子コンピュータ研究センター(RQC) センター長 中村 泰信 氏
- ・理化学研究所 創発物性科学研究センター 副センター長 樽茶 清悟 氏
- ・先進ユーザー企業(化学・創薬、輸送・物流、金融、製造業界)のキーパーソン  
※トヨタ自動車、ホンダ、ソニーグループ、東京エレクトロン、ローム、中外製薬、富士フイルム、三菱ケミカル、JSR、みずほFG、三菱UFJ銀行、住友電工、大日本印刷、TOPPANホールディングスなど
- ・年間協賛企業(量子コンピューターのハード・ソフトウェア、部素材メーカー各社、コンサルティング会社)のキーパーソン
- ・【進行役】日経クロステック 先端技術 編集長 高野 敦 など

※事業企画段階での想定であり、バイネームで記載した皆様のご参加は約束されたものではありません

# 第1回シンポジウムの開催概要

## ■日経クロステック「量子コンピューティング・フォーラム2025(仮称)」

日時:2025年11月7日(金)13:00~17:30(予定)

形式:オンライン配信カンファレンス(V-CUBEセミナー)

主催:日経クロステック

協力:日経ビジネス、日経エレクトロニクス、日経コンピュータ

協賛:量子コンピューターマシン、ソフトウェア提供各社、コンサルティング会社、

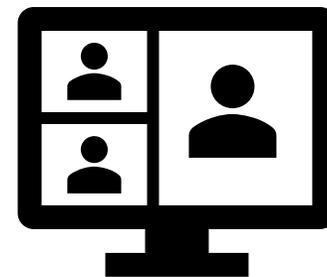
量子コンピューター用半導体、センサー、マテリアル、パッケージング関連各社など

受講対象:企業の経営層、経営企画、事業開発、設計・製造、研究・開発、情報システム部門、

官公庁・自治体、教育・研究機関のキーパーソンなど

受講規模:終日200名(予定)

※日時など変更になる場合がございます。



# 第1回シンポジウムのタイムテーブル(予定)

13:00~13:30	主催者企画（行政/公的機関、アカデミアの有識者などによる講演）
13:35~14:05	協賛講演
14:10~14:40	協賛講演
14:50~15:20	主催者企画（アカデミアの有識者、先進ユーザー企業などによる講演）
15:25~15:55	協賛講演
16:00~16:30	協賛講演
16:40~17:30	主催者企画（アカデミアの有識者、先進ユーザー企業などによるパネル）

※タイムテーブルとプログラム構成は今後、変更になる場合があります

# 年間特別協賛プラン:1000万円(税別)

## ①第1回シンポジウム(2025年11月7日開催予定)

- ・ご講演枠の提供:1枠(30分) ・全受講登録者リスト(200~300件)の提供
- ・ご講演採録記事の掲載(原稿は共通)
  - <1> 日経ビジネス電子版+日経クロステック(ダブルネーム・タイアップ:1HTMLページ) 2026年1月上旬~4週間掲載
  - <2> 左記2誌から1誌選択のうえ2ページ掲載:日経コンピュータ 12月25日号(12/24発売)、日経エレクトロニクス 2026年1月号(12/18発売)
- ・ご講演資料等のダウンロード(任意、1点まで)
- ・個別アンケートの実施(任意) ※運営ルールに基づく形にて別途事務局よりご案内いたします。

## ②研究会(ラウンドテーブル:2026年3月、9月の計2回開催予定) ※有識者を含め各回10名程度で実施する想定

- ・ディスカッションメンバーとして1回あたり1名のご参加
- ・傍聴メンバーとして1回あたり2名のご参加

## ③日経クロステックが実施する量子技術/量子コンピューターに関する調査結果の共有・提供

※調査の実施:2026年5月(予定)、調査結果の共有・提供:2026年7月(予定)

## ④情報発信機会(タイアップ広告掲載機会)の提供 ※正価換算で900万円相当

- ・日経ビジネス電子版+日経クロステック(ダブルネーム1HTMLページ) 4週間掲載×2回

※第1回シンポジウムの講演採録記事とは別に2025年11月~2026年10月内で2回実施可能。取材・掲載時期は任意でご設定。

※採録記事の掲載号、掲載期間は変更になる場合があります。

# 🔊 シンポジウム協賛プランA:500万円(税別)

## ①第1回シンポジウム(2025年11月7日開催予定)

- ・ご講演枠の提供:1枠(30分)
- ・全事前登録者リスト(200~300件)の提供
- ・ご講演採録記事の掲載(原稿は共通)
  - <1> 日経ビジネス電子版+日経クロステック(ダブルネームタイアップ:1HTMLページ)  
2026年1月上旬~4週間掲載(両媒体の基本誘導メニュー付き)
  - <2> 下記2誌から**1誌選択**のうえ2ページ掲載
    - 日経コンピュータ 12月25日号(12/24発売)
    - 日経エレクトロニクス 2026年1月号(12/18発売)
- ・ご講演資料等のダウンロード(任意、1点まで)
- ・個別アンケートの実施(任意) ※運営ルールに基づく形にて別途事務局よりご案内いたします。

## ②研究会(ラウンドテーブル:2026年3月、9月の計2回開催予定)

- ・傍聴メンバーとして1回あたり2名のご参加

※採録記事の掲載号、掲載期間は変更になる場合があります。

# 🔊 シンポジウム協賛プランB:450万円(税別)

## ■第1回シンポジウム(2025年11月7日開催予定)

- ・ご講演枠の提供:1枠(30分)
- ・全事前登録者リスト(200~300件)の提供
- ・ご講演採録記事の掲載(原稿は共通)
  - <1> 日経ビジネス電子版+日経クロステック(ダブルネームタイアップ:1HTMLページ)  
2026年1月上旬~4週間掲載(両媒体の基本誘導メニュー付き)
  - <2> 下記2誌から1誌選択のうえ2ページ掲載
    - 日経コンピュータ 12月25日号(12/24発売)
    - 日経エレクトロニクス 2026年1月号(12/18発売)
- ・ご講演資料等のダウンロード(任意、1点まで)
- ・個別アンケートの実施(任意) ※運営ルールに基づく形にて別途事務局よりご案内いたします。

※採録記事の掲載号、掲載期間は変更になる場合があります。

# 🔊 シンポジウム協賛プランC:350万円(税別)

## ■第1回シンポジウム(2025年11月7日開催予定)

- ・ご講演枠の提供:1枠(30分)
- ・全事前登録者リスト(200~300件)の提供
- ・ご講演採録記事の掲載
  - <1>日経ビジネス電子版+日経クロステック(ダブルネームタイアップ:1HTMLページ)  
2026年1月上旬~4週間掲載(両媒体の基本誘導メニュー付き)
- ・ご講演資料等のダウンロード(任意、1点まで)
- ・個別アンケートの実施(任意) ※運営ルールに基づく形にて別途事務局よりご案内いたします。

※採録記事の掲載期間は変更になる場合があります。



# 今後の主なスケジュール(予定)

- |                                 |                   |
|---------------------------------|-------------------|
| ●各社様へのご協賛プラン提案                  | 2025年6月以降随時       |
| ●外部有識者(コンソーシアムメンバー)の招聘開始        | 2025年6月～          |
| ●第1回シンポジウム:主催者企画プログラムの検討開始      | 2025年6月～          |
| ●第1回研究会、第2回研究会:ディスカッションテーマの検討開始 | 2025年7月～          |
| ●年間特別協賛、第1回シンポジウムご協賛の締め切り       | 2025年9月           |
| ●量子コンピューターに関する調査項目の検討開始         | 2025年9月           |
| ●第1回シンポジウムのプログラム確定→集客開始         | 2025年10月          |
| ●第1回シンポジウム開催                    | 2025年11月7日        |
| ●年間特別協賛:タイアップ広告の実施(時期は任意で計2回)   | 2025年11月～2026年10月 |
| ●第1回シンポジウム受講登録リストの提供            | 2025年11月中旬        |
| ●第1回シンポジウム講演採録記事の掲載             | 2025年12月～         |
| ●第1回研究会(ラウンドテーブル)開催             | 2026年3月           |
| ●量子コンピューターに関する調査(実施)            | 2026年5月           |
| ●量子コンピューターに関する調査(報告)            | 2026年7月           |
| ●第2回研究会(ラウンドテーブル)開催             | 2026年9月           |

※本件計画や協賛に関するお問い合わせは、下記担当者までお願いいたします  
日経BP アカウントマーケティング統括補佐 鍵山 [kagiyama@nikkeibp.co.jp](mailto:kagiyama@nikkeibp.co.jp)  
日経BP アカウントビジネス4部 鈴木 [tshsuzuk@nikkeibp.co.jp](mailto:tshsuzuk@nikkeibp.co.jp)  
※上記は2025年5月現在の計画で変更になる場合があります。

# 個人情報を提供する際の取り扱いルール

日経BPでは顧客情報の提供にあたり、以下の内容を遵守していただくことを前提といたします。  
是非、ご確認いただきますようお願い申し上げます。

## 1. 顧客情報の範囲

提供する顧客情報は、「氏名」「勤務先会社名」「勤務先部署名・役職名」「勤務先郵便番号」「勤務先(または自宅)住所」「勤務先(または自宅)電話番号」「勤務先(または自宅)FAX番号」「電子メールアドレス」「業種など」の登録された情報のなかで貴社が希望する項目とします。「業種など」はイベント単位で異なる場合がありますので、事前に担当者までお問い合わせください。

## 2. 顧客情報の提供方法

顧客情報は「日経BP リードジェン支援システム」を使用してお提供いたします。データの取得方法などは貴社ご担当者様宛に弊社からメールでご案内いたします。問い合わせ先:日経BP リード・サポートセンター( E-mail:lgsc10@nikkeibp.co.jp )

## 3. 顧客情報の利用目的

提供した顧客情報は、その元となった貴社主催または協賛セミナーの内容に関連した、貴社製品／サービスのご案内に限定してご利用ください。

## 4. 顧客情報の利用方法

提供した顧客情報を元に、最初に顧客に連絡を取る際には、「提供した顧客情報の元となった貴社主催または協賛のイベント名」「貴社名」「貴社の連絡先」「顧客情報の変更・削除および情報提供停止の方法」を必ず明示してください。

## 5. 提供した顧客情報の管理責任について

提供した顧客情報は「個人情報の保護に関する法律」などに基づいて貴社の責任において管理・運用願います。万が一、事故などで顧客または貴社に損害が生じた場合、弊社では一切の責任を負いかねます。